

佐藤農場株式会社

<基本情報>

所在地：佐賀県鹿島市

<農場概要>

- 経営面積：33ha（約10haは改植後未収穫期間中）※全面積有機栽培
- 栽培品目：柑橘類（温州みかん、レモン、ポンカン、だいたい等）
- 従業員14名(代表を含む。)



<有機農業に取り組むきっかけ>

- 慣行栽培では、自身も含め篤農家ほど農薬散布が多く薬害と思われる病気や体調不良に見まわれる実態を目の当たりにし、農家自身が健康でなければならないと考えたこと。
- 昭和63年に全面有機栽培に転換し、有機JAS制度が始まった
平成13年（2001年）から有機JAS認証を取得。

<販売について>

- 生果は国産オーガニック専門店、生協パルシステム等に販売している。有機の引き合いは強く、注文に応じきれないほどである。インターネットで、「鹿島みかん村」としても販売している。
- 生果のほか、**ジュース、ドライフルーツ、ジェラート等の加工・販売**も行っている。



【お問合せ先】TEL.0954-62-8334

会社ホームページ <https://mikan-satou.jp/>

<病虫害対策・除草対策・土づくり>

- **病虫害対策**：「有機」表示のできる農薬として、殺菌剤のイオウフロアブル及びI Cボルドー66D、殺虫剤のマシン油を使用。黒点病菌の発生源の枯死枝を適確に除去し、園外で処理。
- **雑草対策**：草の種を撒き、やわらかい春草を増やして棒で倒すことで、芯の硬い夏草の発生を抑える「草倒し農法」を実践。草があることで、土壌環境が改善され、紫外線が直接地面に当たらないため微生物が増え、くもなど昆虫が住む生態系が形成され、食物連鎖の中で大量の害虫発生も抑えることができる。
- **土づくり**：発酵鶏糞や発酵させたみかんの絞りかす、枯れ草等を利用した土づくりを実施。



<現場の課題>

- 輸送コストの高騰、JAS認証更新費用等の経費が経営を圧迫している。
- 収穫期には作業員を増員する必要があるが、パート雇用者も高齢化しており人員確保が難しくなっている。

<今後の展望>

- 現状では、生果の引き合いは強く、今後も離農する農家の農地を引き受け経営規模の拡大を目指すのが、経費と収益の関係もよく見ていく必要がある。